

「Go Global Passport」授与によるグローバル人材への意識付けについて

同志社大学
国際連携推進機構 国際センター 国際課

中嶋 政仁



同志社大学
Doshisha University



14 学部

神学部
文学部
社会学部
法学部
経済学部
商学部
政策学部
文化情報学部
理工学部
生命医科学部
スポーツ健康科学部
心理学部
グローバル・コミュニケーション学部
グローバル地域文化学部

27,000名

国際教育インスティテュート
日本語・日本文化教育センター

14 大学院

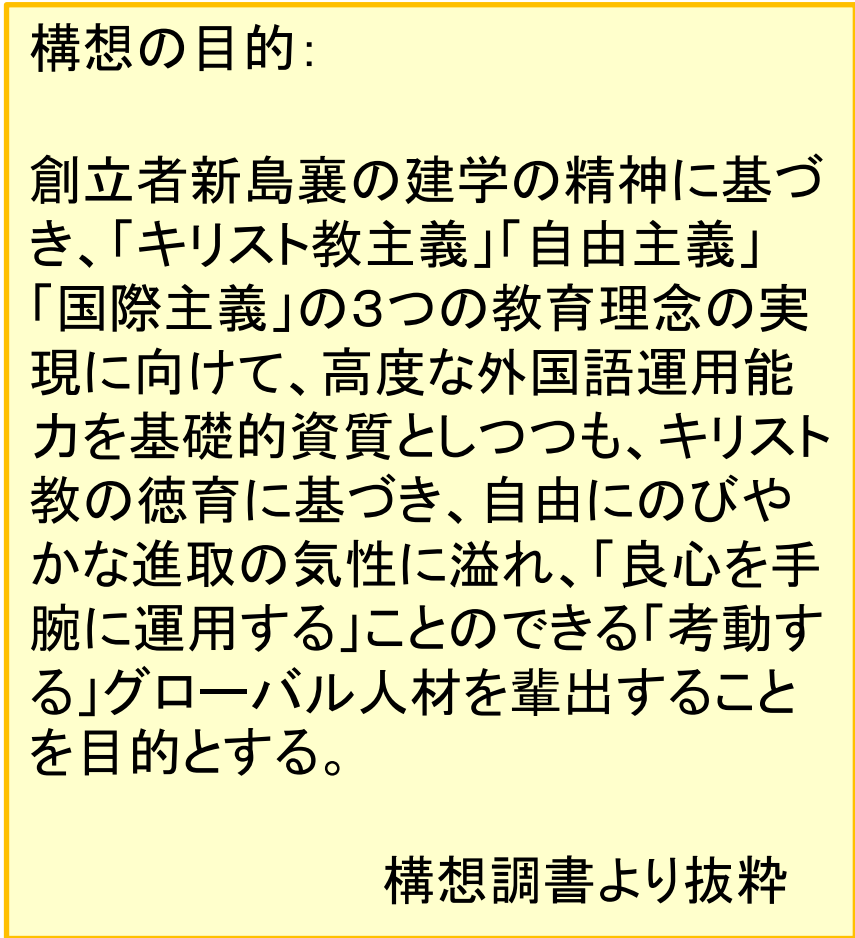
神学研究科
文学研究科
社会科学研究科
法学研究科
経済学研究科
商学研究科
総合政策科学研究科
文化情報学研究科
工学研究科
生命医科学研究科
スポーツ健康科学研究科
心理学研究科
グローバル・スタディーズ研究科
脳科学研究科

2,400名

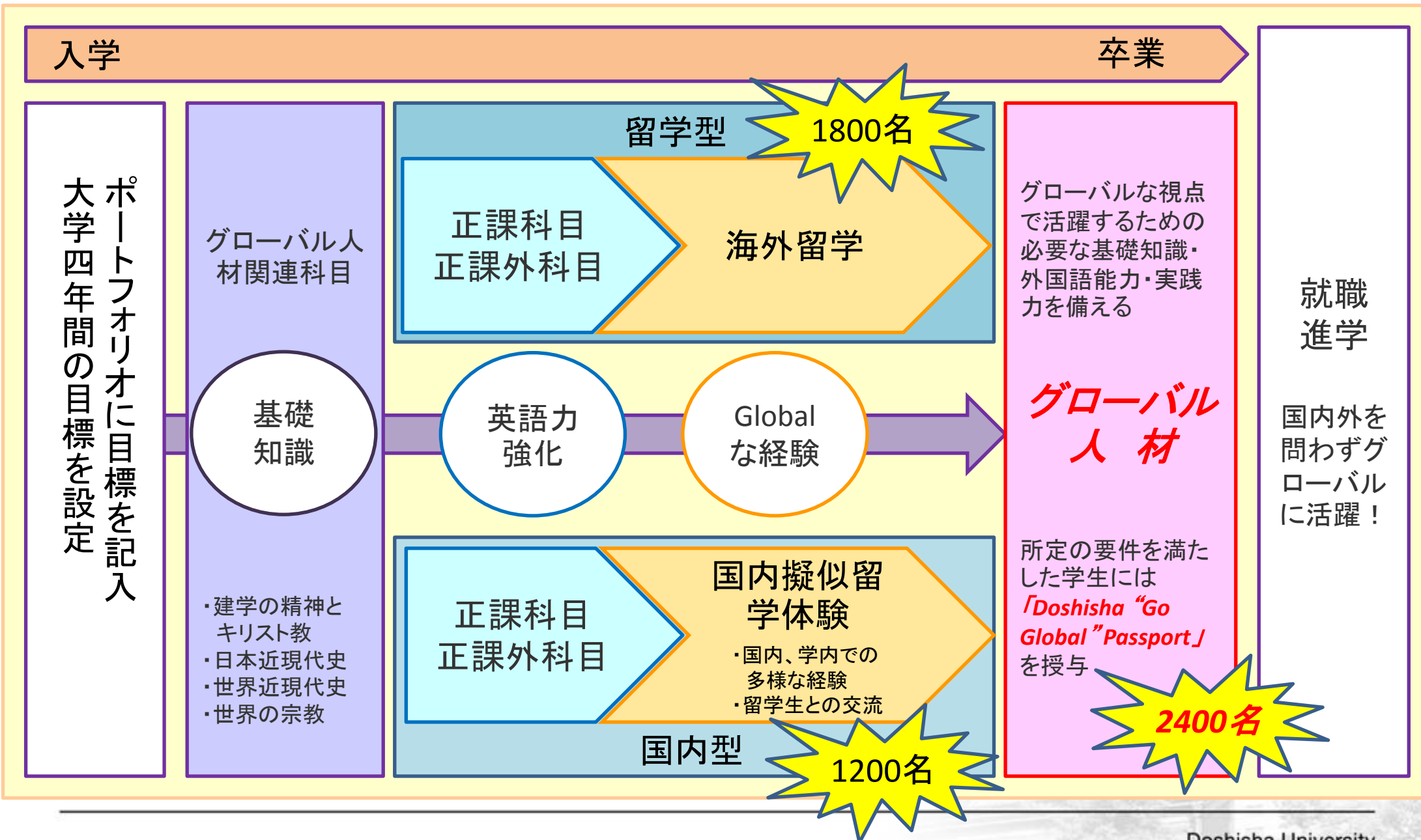
2 専門職大学院

司法研究科(法科大学院)
ビジネス研究科(ビジネススクール)

300名



本学が目指すグローバル人材像



次の①から④のいずれかを満たし、⑤及び⑥の全てを満たした者に「Doshisha “Go Global” Passport」を**授与**する。

①TOEFL-iBT79点以上、TOEFL-ITP550点以上、TOEIC730点以上、TOEIC-IP730点以上、または別表に定めるこれらと同等のスコア・資格のいずれかを有すること。

②「Intensive Courses for TOEFL(Pracitice)」 「Intensive Courses for TOEFL(Tutorial)」2科目の単位を修得すること。

③初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。

④本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。

⑤「建学の精神とキリスト教」「キリスト教と人間1」「キリスト教と人間2」「キリスト教とは何か1」「キリスト教とは何か2」の内のどれか1科目の単位を修得すること。

⑥「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」の内2科目の単位を修得すること。

※3年次春学期終了後以降、授与するものとする。

語学に関する要件

要件①

試験名	スコア／級
TOEFL-iBT	79～
TOEFL-ITP	550～
TOEFL-PBT	550～
TOEFL-CBT	213～
TOEIC	730～
TOEIC-IP	730～
TOEIC-IP	730～
IELTS	6.0～
国連英検	A級以上 (該当級: A、特A)
英検	準1級以上 (該当級: 準1級、1級)
ケンブリッジ英検	First Certificate 以上 (該当級: FCE、CAE、CPE)
CASEC	700～

要件③の一覧に記載のない言語語学スコアについては評価対象とならない。

要件③

言語	試験名	級／スコア
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	B1以上 (該当級: B1、B2、C1、C2)
	ドイツ語技能検定	準1級以上 (該当級: 準1級、1級)
フランス語	DELF	B1以上 (該当級: B1、B2、C1、C2)
	TCF	B1以上 (該当級: B1、B2、C1、C2)
	実用フランス語技能検定試験	準1級以上 (該当級: 準1級、1級)
中国語	漢語水平考試(新HSK)	4級以上 * GC中国語コースは5級以上 (該当級: 4級、5級、6級)
	中国語検定試験	3級以上 * GC中国語コースは2級以上 (該当級: 3級、2級、1級)
	中国語能力試験	Level 3以上 (該当級: Level 3、4)
	中国語コミュニケーション能力検定	400～1,000点 (該当級: レベルD、C、B、A)
スペイン語	DELE	B1以上 (該当級: B1、B2、C1、C2)
	スペイン語技能検定	4級以上 (該当級: 4級、3級、2級、1級)
ロシア語	TPKI	第1レベル以上 (該当級: 第1、第2、第3、第4レベル)
	ロシア語能力検定試験	2級以上 (該当級: 2級、1級)
コリア語	韓国語能力試験(TOPIK)	4級以上 (該当級: 4級、5級、6級)
	ハングル能力検定試験	準2級以上 (該当級: 準2級、2級、1級)
	KLAT(旧KLPT)	4級以上 * 旧KLPTは350～500点 (該当級: 4級、5級、6級)

Go Global ポートフォリオによる語学スコア・留学歴の蓄積

同志社大学 Go Global Passport

2014-10-16 (Thu) | 同志社 太郎 | 設定 | ログアウト | English

マイポートフォリオ マイコース マイコミュニティ

プロフィール 国際センター 国際課

自己紹介

京都生まれ、京都市育ちの同志社太郎です。
将来は資源・エネルギー関連のビジネスに携わりたいを考えており、現在は新島ゼミに所属しています。
米国留学の経験があります。

語学スコア

教員にのみ公開中

受験日	テスト名	スコア	登録
2013-06-15	TOEFL-IBT	100	大学
2012-10-05	TOEFL-IBT	80	本人

>> 詳細を見る

留学・海外学習歴

単位を修得留学歴

渡航先	期間	登録
Harvard University アメリカ合衆国	2012-9-3 ~ 2013-03-29	本人

>> 詳細を見る

- ・大学で一斉受験をした語学スコアや留学歴を一括登録。
- ・学生個人で直接登録することも可能。

- ・受験した語学スコアや留学歴が全て記録されることで、学生の成長度が一目瞭然。
- ・目標とする語学スコアとの差を比較できる。

学生本人が成長を実感
⇒モチベーションのUPにつながる！

Go Global ポートフォリオによるGo Global Passport認定までの進捗状況確認

単位を伴つ留学歴

渡航先	期間	登録
Harvard University アメリカ合衆国	2012-9-3 ~ 2013-03-29	本人

>> 詳細を見る

■ Go Global Passport

教員にのみ公開中



要件	取得
①TOEFL-iBT79点以上、TOEFL-ITP550点以上、TOEIC730点以上、TOEIC-IP730点以上、または別表に定めるこれらと同等のスコア・資格のいずれかを有すること。	PASS
②「Intensive Courses for TOEFL (Practice)」 「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」 2科目の単位を修得すること。	-
③初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。	-
④本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。	PASS
⑤「建学の精神とキリスト教」「キリスト教と人間1」「キリスト教と人間2」「キリスト教とは何か1」「キリスト教とは何か2」の内のどれか1科目の単位を修得すること。	PASS
⑥「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」の内2科目の単位を修得すること。	PASS

※①から④のいずれかを満たし、⑤及び⑥の全てを満たした者に「Doshisha "Go Global" Passport」を授与する。

■ 詳細プロフィール

教員にのみ公開中

所属ゼミ	新島ゼミ
興味のある分野	資源・エネルギー
興味のある国	アメリカ、中国

- ・データは全て大学にて一括登録。
- ・学生はGo Global Passport の認定要件に対し、進捗状況を確認できる。

同志社大学が目指すグローバル人材像に何が不足しているかを認識。
⇒モチベーションのUP

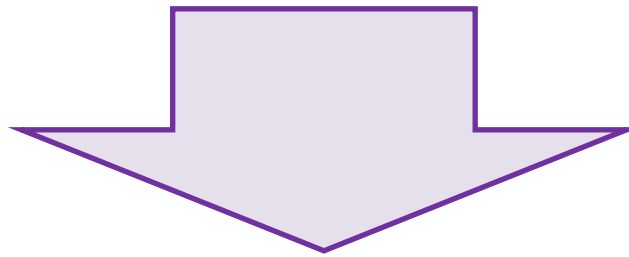
**同志社大学が目指す
グローバル人材！！！！**

グローバル人材育成推進会議中間まとめ(2011年6月)

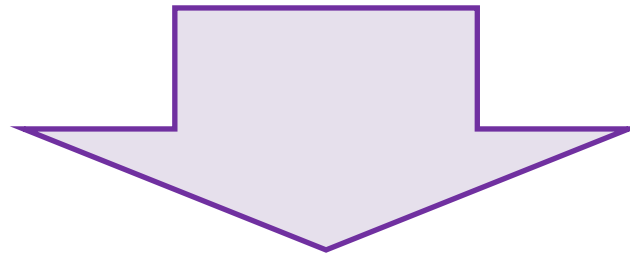
要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感

要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ

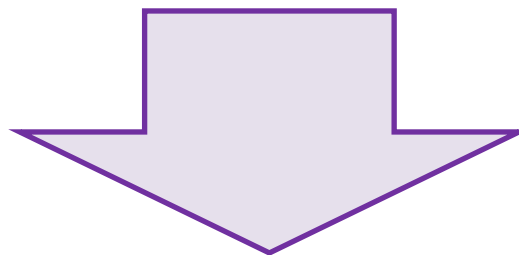


Doshisha “Go Global” Passport 授与要件とリンク



Doshisha “Go Global” Passport が授与される＝社会が求めるグローバル人材

要素Ⅰ：語学力・コミュニケーション能力



- ①TOEFL-iBT79点以上、TOEFL-ITP550点以上、TOEIC730点以上、TOEIC-IP730点以上、または別表に定めるこれらと同等のスコア・資格のいずれかを有すること。
- ②「Intensive Courses for TOEFL (Pracitice)」 「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」 2科目の単位を修得すること。
- ③初修外国語について、別表に定める資格・スコアのいずれかを有すること。
- ④本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。

【正課】

「Intensive Courses for TOEFL (Pracitice)」

TOEFL ITPテストで求められる3技能(Listening, Grammar, Reading)の訓練を中心に、たくさんの実践問題を解きながらスコアアップを目指す。

「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」

留学先でのシミュレーションを通して、「聴く・読む」に加えて「話す・書く」ことも求められるTOEFL iBTの訓練を集中的に行う。

【課外】

TOEFLテスト対策講座(国際課主催/有料)

TOEFL テストの初心者を対象に年2回実施。TOEFL-ITP500点突破を目指して、日本人講師とネイティブ・スピーカーの講師の指導のもと、傾向と対策を学ぶ。

TOEICテスト対策講座(学生支援課主催/有料)

TOEICのレベルアップコースと900点コースを実施。

留 学

Go Global Passport 授与要件対象

サマープログラム(約2~4週間)
スプリングプログラム(約2~4週間)
セメスタープログラム(約4ヶ月)

派遣留学(半年~1年)

認定留学

学部型専門留学

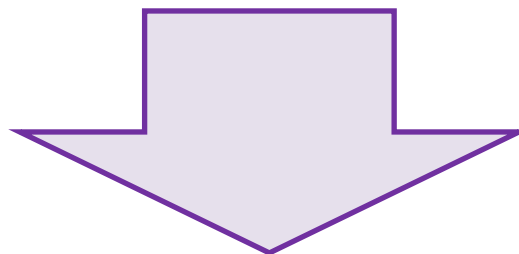
Go Global Passport 授与要件対象外

休学留学

休学留学は学生の
財政的負担が重い。

大学で魅力あるプ
ログラムをもっと提
供していくことが課
題！

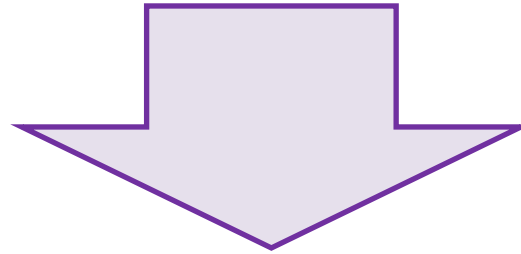
要素Ⅲ：異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ



- ④本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。
- ⑤「建学の精神とキリスト教」「キリスト教と人間1」「キリスト教と人間2」「キリスト教とは何か1」「キリスト教とは何か2」の内のどれか1科目の単位を修得すること。
- ⑥「日本近現代史」「世界近現代史」「世界の宗教」「国際教養基礎論1」「国際教養基礎論2」の内2科目の単位を修得すること。

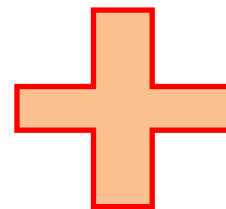
世界の宗教・歴史・文化 + 同志社

要素Ⅱ：主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感



②「Intensive Courses for TOEFL (Practice)」 「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」
2科目の単位を修得すること。

④本学が実施する留学プログラムに参加し、所定の評価等を得ていること。



日常の大学生活で身につける！

「社会人基礎力」とは



- 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「**職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力**」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「**社会人基礎力**」として定義づけ。

<3つの能力／12の能力要素>

前に踏み出す力(アクション)

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

物事に進んで取り組む力

働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

実行力

目的を設定し確実に行動する力

考え抜く力(シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

計画力

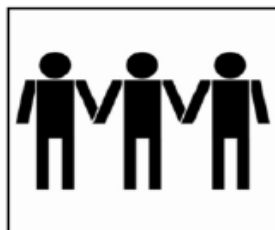
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

創造力

新しい価値を生み出す力

チームで働く力(チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

規律性

社会のルールや人との約束を守る力

ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

要素Ⅱを考える上で

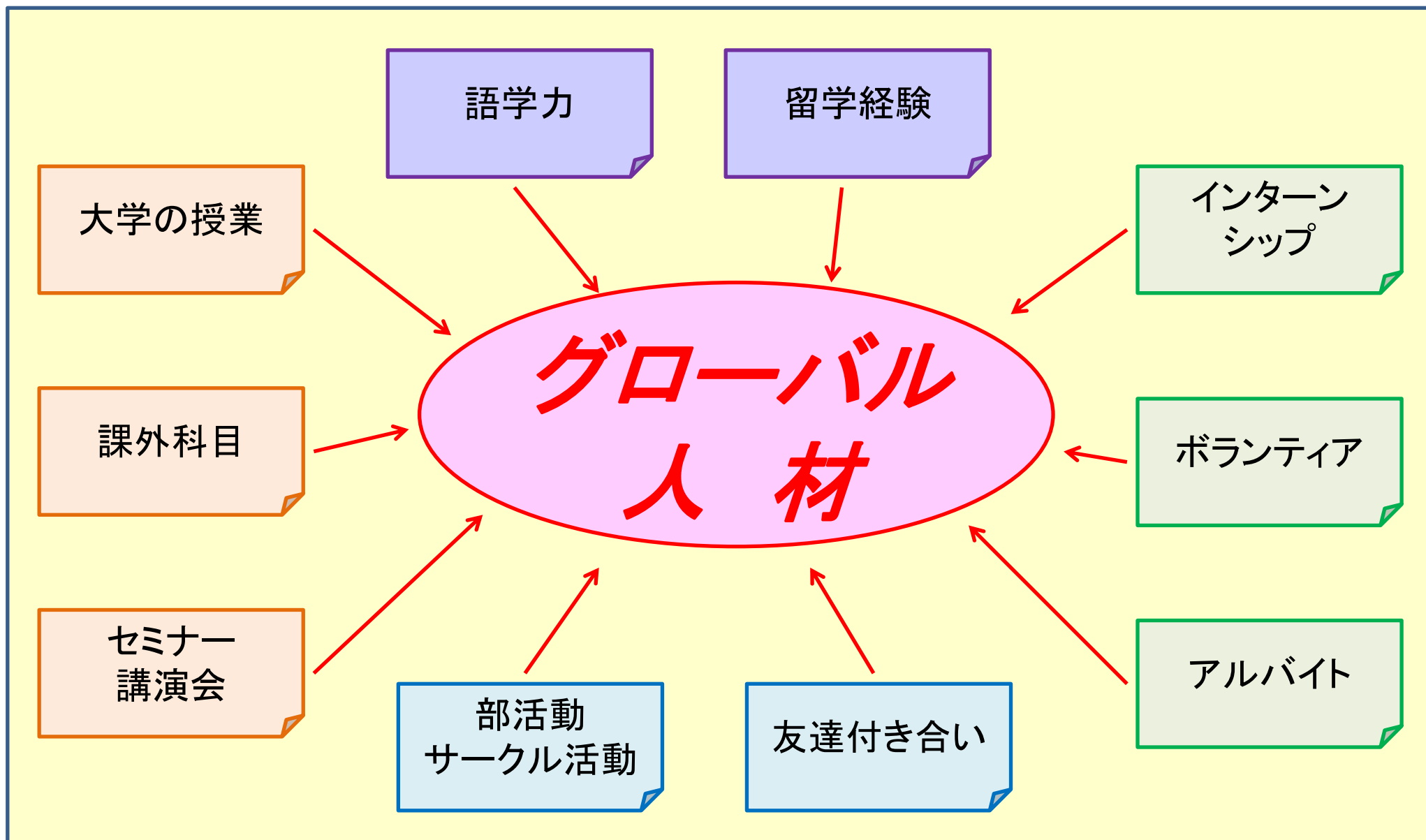
「グローバル人材」育成のために大学に求めること（従業員規模別）

	必ず/できれば求めたい		
	299名以下	300～1,999名	2,000名以上
①外国語としての英語の授業における少人数教育（教員1人に対し学生20人以内）	26.5	37.2	42.6
②外国語としての英語のネイティブ教員による授業	29.3	43.6	53.8
③英語によるアカデミックライティングの指導	21.0	31.6	42.5
④卒業や進級にあたって一定以上の語学資格（スコア）を必須とすること	25.0	34.7	41.3
⑤交換留学制度（単位互換・認定の要件を示しているもの）の整備	17.3	26.9	43.8
⑥卒業や進級にあたって1年未満の短期海外留学を必須とすること	10.0	5.6	10.1
⑦卒業や進級にあたって1年以上の長期海外留学を必須とすること	7.7	4.7	10.0
⑧語学の授業以外で英語により行われる科目の履修を義務づけること	17.3	27.4	27.5
⑨一般教養基礎科目及び専門科目における少人数教育（教員1人に対し学生20人以内）	28.0	32.1	37.5
⑩1年次からの演習方式（ゼミ方式）の授業の実施	25.4	30.8	36.3
⑪教員と学生との質疑応答が積極的になされるような仕組み	49.5	62.8	71.3
⑫学生同士のディスカッションが積極的になされるような仕組み	51.3	69.2	76.3
⑬学生によるグループワーク（課題を提示した上での協働作業など）の実施	52.7	69.7	75.0
⑭授業における、企業等からの講師招聘や実業現場の見学・ヒアリングなどの交流・連携の実施	45.1	50.0	57.6
⑮学生の国内事業所等へのインターンシップの促進	36.4	38.4	38.8
⑯学生の海外事業所等へのインターンシップの促進	13.3	15.8	20.0
⑰学生の国内でのボランティア活動や地域活動への参画の促進	35.3	35.5	28.8
⑱学生の海外でのボランティア活動への参画の促進	12.2	11.6	12.5
⑲異文化理解や異文化コミュニケーションをテーマとする授業	28.8	39.7	56.3
⑳「日本」の文化や歴史をテーマとする授業	39.0	43.2	47.5

※上記表内の数値は、選択肢「必ず求めたい」「できれば求めたい」の合計値を表している。

※網掛けは、当該区分の上位3項目を表している。

資料:「大学におけるグローバル人材育成のための指標調査」報告書（平成24年3月）



職員としての取り組み

年度	開催回数	参加人数	内容
2010	第1回	82	①開催の目的の説明 ②各組織の状況、問題点の共有 ③MLIについて
	第2回	60	①各組織の状況、問題点の共有(事例紹介)
	第3回	54	①同志社大学英文用語集について, その他②国費留学生制度について
2011	第1回	51	①同志社大学英文用語集について, その他 ②外国人の在留資格について
	第2回	34	①同志社大学英文用語集について, その他②大学間協定・学部(研究科)間協定について
	第3回	35	①同志社大学英文用語集について, 文書の英文化について ②外国人留学生の学生生活および在籍管理の留意点について
	第4回	39	①文書の英文化について ②「派遣留学」の概要とその関連手続きについて
	第5回	48	①文書の英文化について ②留学生別科の現状について, 「国際教育インスティテュート」について
	第6回	46	①同志社大学のグローバル化の取り組みについて ②留学生統計と留学生身分の種類について
	第7回	30	①文書の英文化について ②学内文書英文化ワーキンググループの総括:「国際化推進の意義」
2012	第1回	42	①文書の多言語化について ②外国人留学生を対象とした入試に利用される語学能力証明書等について
2013	第1回	50	①留学生のアルバイト 資格外活動許可について ②グローバル人材育成推進事業について
2014	第1回	49	①グローバル人材育成推進事業 ～海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金について～ ②国際教育インスティテュート概要について

事務組織の
国際化促進

国際業務の情報共有化 Wordingの統一 学内文書の英文化

学生交流の場

—日本人学生/留学生の自立的な交流機会の創出

学生支援センターなどの企画に加えて

2014年度実施企画例
オープン・ラウンジ、国際交流お花見、
Lunch Talk (各言語で毎月数回)、
Book Club、Language Exchange Event、
Intercultural Presentation、Global Sushi、
World Kitchen、防災体験、座禅体験 etc.

11月現在
参加者数
1382名(日本
人学生753名
留学生629名)

SIED (Students
Staff for
Intercultural
Event at
Doshisha

SIED (シード)は、学生が主体となり国際交流イベントを企画・実施するために国際センター留学生課に設けられた組織です。2013年10月より活動を開始し、現在は両校地合わせて20人のスタッフが、同志社大学における日本人学生と外国人学生の相互交流を促進し、同志社大学のグローバル化を推進するために活動しています。



ご清聴ありがとうございました。